

平成 29 年 3 月定例教育委員会 会議録

1. 日 時 平成29年3月28日(火)

開 會 午後 1 時 30 分

閉 会 午後 2時 30 分

2. 会 場 茅野市役所 602 会議室

3. 出席委員 教育長 山田 利幸

教育委員 小林 智

教育委員 小平 光子

出席者 生涯学習部長 木川 亮一

学校教育課長 平出 信次

幼児教育課長 牛山津人志

生涯学習課長 小島 吉彦

公民館長 矢島喜久雄

教育総務係長 渡辺 雄一

生涯学習係長 上原 平二

教育総務主事 丸茂 直樹

同職務代理者 矢崎 靖雄

教育委員 小林 俊恵

こども部長 牛山 洋治

スポーツ健康課長 鋤柄 敏

こども課長 両角 勝元

文化財課長 守矢 昌文

こども係長 今井 明彦

4. 傍聴者 1 名

3月定例教育委員会次第

日 時 平成 29 年 3 月 28 日（火）午後 1 時 30 分から

場 所 市役所 602 会議室

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報告事項

第 1 号 教育長報告

第 2 号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

第 3 号 教育委員会共催後援

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

4 議 案

（1）4 月 1 日付教育委員会関係の人事について

（2）教育委員会事務局職員の人事異動について

（3）規則・要綱等の改正について

（4）茅野市社会教育委員会の委員委嘱について

5 検討事項

今回はありません。

6 その他

（1）市議会 3 月定例会一般質問について

（2）全国学力・学習状況調査について

（3）保育所運営審議会委員の選出について

次回定例教育委員会日程について

4 月 27 日（木）午後 1 時 30 分「602 会議室」

（事務局会議 4 月 13 日（木）午前 8 時 45 分「705 会議室」）

7 閉会

教育長

只今から、3月定例教育委員会を開催します。

前月の2月の会議録の確認をします。何かありますか。

全委員

異議なし。

教育長

それでは報告第1号教育長報告をさせていただきます。

4日に茅野高校の卒業式がありました。子ども達も今までと比べて3人ぐらいまでに減っていました。卒業式の内容を子どもたちに考えさせればもっと子どもたちが伸びると思いました。

6日に不登校対策委員会が開かれました。昨年度までに比べて、4月、5月の段階から増えていました。統計の取り方でできるだけ減らしていましたが、事実のデータで見た時にやや多くなっている印象でした。

11日にロングモント交流事業選考会がありました。応募してきた8名の子ども全員が行けるようになりました。今年度の特徴はやや個性的な子どもがいました。個性的ということで落とさずに本年度は一緒に参加してみる。大人がその分カバーしていくかが課題だと思います。

16日には永明中学校の卒業式がありました。中学校での育ちが見れた卒業式でした。24日にはみどりヶ丘保育園卒園式があり、とても素晴らしい卒園式で、質の高い保育を行っていて園児と先生の信頼感がとてもある保育園でした。

次に報告2号各課から報告をお願いします。

[各課から4月行事予定について報告]

資料（報告2号）

教育長

次に報告事項第3号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課から教育委員会共催・後援について報告]

資料（報告3号）

教育長

次に議案1号「4月1日付教育委員会関係の人事について」こども部長からお願いいたします。

【概要】

こども部長

牛山幼児教育課長がこども部長、平出学校教育課長が生涯学習部長へ昇任。小島生涯学習課長が税務課長へ、両角こども課長が高齢者・保険課へ異動となります。公民館の五味教育係長がこども課長、税務課の有賀資産税係長が学校教育課長、幼児教育課の五味幼児教育係長が幼児教育課長へ昇任、財政課の藤森契約検査係長が生涯学習課長へ昇任となります。その他の職員については、資料の通りになります。

資料説明（議案第1号）

教育長

次に議案2号「教育委員会事務局職員の人事異動について」こども部長お願いいたします。

こども部長

教育支援指導主事は、雨宮先生が継続で3年目になります。鎌倉指導主事の代わりに行田善信先生が新任となります。教育指導主事は樋口先生の代わりに公民館から伊藤洋児先生、五味先生の代わりに平田孝司先生、三宅先生の代わりに帯川淳也先生、公民館に新しく野澤幹雄先生が新任となります。

教育長

次に議案3号「規則・要綱等の改正について」関係課長からお願いします。

学校教育課長

来年度から市内小中学校が小中一貫になるということで、規則に「第6章（小中一貫校）第26条 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第79条の9第1項の規定により、小学校における教育と中学校における教育を一貫して施すものとする」という文を追加させていただきました。その他についてはそれに伴う条ずれの数字の変更になります。

次に副学籍の説明になります。内容については前回説明しておりますので省かせていただきます。茅野市における副学籍の要綱を定めるという内容のものになります。

幼児教育課長

茅野市教育委員会保育所における保育を行うことに関する規則の変更で今回は、条ずれの変更と様式の変更に伴う改正となっております。様式の主な変更は入所申込み書の施設の希望を今までが第3希望までだったものを第6希望までに増やした点です。もう1つの様式は延長・預り保育申込書と緊急預り保育申込書が今まで1つの様式となっておりますでしたが、非常に間違いが多かったので今回別々にさせていただきました。

次に茅野市子どものための教育・保育給付に関する利用者負担額を定める条例施行規則の一部を改正する規則ですが、児童福祉法第 56 条の改正により今までは「第 11 項及び第 12 項の規定」としていたところを「第 7 項及び第 8 項の規定」への変更になります。

次に茅野市民間保育所補助金交付要綱についてです。よこうち保育園がよこうち認定こども園になることへの変更です。それに伴う文言の訂正となります。また補助金の交付についても認定こども園ができたということでそれに伴い文言の追加訂正、公定価格に見合った補助金の支給となります。また加配保育士に関わる所で今までは「月額 171,000 円×加配保育士」としていたところを「市長が別に定める嘱託保育士の月額賃金の最高額×加配保育士等」へ変更となります。今後継続して賃金を上げていこうと考えていますので、今回はそのための変更となります。

教育長

次に議案第 4 号「茅野市社会教育委員会の委員委嘱について」生涯学習課長からお願いします。

生涯学習課長

社会教育委員は条例に基づき任命しております。委員の任期は 2 年、人数は 12 人以内となっております。3 月 31 日で任期が終わりとなる委員がいますので、この場で報告させていただきます。今回、充て職となっている茅野市 PTA 連合会から 1 名、わかば保育園から 1 名、図書館協議会から 1 名が新任となっております。また市校長から 1 名新任で追加となります。分かり次第お伝えしたいと思います。こちらの案でよろしければ承認をお願いいたします。

教育長

意見、質問等ございませんか。ありませんので、承認とさせていただきます。

次にその他 1 「市議会 3 月定例会一般質問について」両部長からお願いします。

こども部長

一般質問の前に議決結果の報告をさせていただきます。議案第 8 号「茅野市子どものための教育・保育給付に関する利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例について」こちらが可決という事になりました。

一般質問の方では、矢島正恒議員から「子育て・教育に係る主要施策について」ということで 2 つ質問をいただいております。1 つ目は支援を必要とする子どもや家庭への行政組織の連携と情報の共有についてということで、回答は児童虐待への支援では幼保保護児童対策地域協議会により、関係開館と連携して取り組んでいる。発達支援では発達支援センターを中心に保育園等との連携を図り支援を行っている。情報の共有では、どんぐり

手帳により相談時に活用している。2つ目の質問は茅野市が目指す小中一貫教育と信州型コミュニティスクールについてということで、回答は小中一貫教育、信州型コミュニティスクールは、ともに教育改革にとって重要なツールで学校と地域が「こんな子どもを育てたい」という願いを共有することで一体となって相乗効果を発揮していくことが期待されている。地域と一体となった学校運営、学校支援を行っている。

北沢千登勢議員から「全国学力・学習状況調査について」ということで3つ質問をいただいております。1つ目の質問が全国平均と茅野市の平均回答率の比較ということで、回答は全国学力テストについて、市では学力の向上のための課題を見出し、教員の授業改善に役立てていることが調査の目的であると捉えているため、数値での公表については慎重に取り扱っていく。2つ目の質問は学力向上の課題と改善策についてということで、市内小中学校では学校ごとに調査結果を分析、検証を行い児童生徒がさらに伸びていくための改善策につなげていきたいと考えている。保護者には成果と課題等について学校便りを通じてお知らせしている。3つ目の質問は学力テストの結果公表についてということで、県内の多くの市町村が学力向上の課題と改善策について、数値は出さず文章化した表現を用いてホームページ等でお知らせしている。市では調査の公表は学校の序列化につながらないよう慎重に扱い、市全体の学力向上の課題、改善策等の公表は研究していく。

伊藤玲子議員から「【茅野市保育園管理計画（案）】地元説明実施後、改めて示された修正案について」という質問をいただいております。1つ目の質問は修正案に至った経緯と各地区で出された意見についてということで、回答は関係する5地区において説明会を行いました。統廃合を予定している宮川、湖東地区では統廃合のについて反対も含め、多数の意見をいただきました。また、リノベーションについては、概ねの理解をいただきました。このため、統廃合については、決定事項とせず、検討委員会を設置し、地域の意見を集約した上で最終判断する内容に修正しました。2つ目の質問が（仮称）統廃合検討委員会設置についてということで統廃合検討委員会では、計画の検証や保育園のあり方を協議し、結果を提言書として市長に報告する。メンバーは保護者会代表、関係区長、地区子育て部会の代表等を考えている。3つ目がその後の進め方ということで回答は、検討委員会では、保育園を取り巻く課題の整理等の検討を行い、解決策のとりまとめ、関係者へのアンケートを実施し、提言書としてとりまとめ、2020年度に統廃合の結論を出していきたい。

同じく北沢千登勢議員から「子どもカフェ（子どもの居場所）づくりの必要性について」という質問をいただいております。1つ目の質問は子どもの現状の把握についてということで回答は、ひとり親世帯の増加も含め、虐待を受けている子どもをはじめとする保護や支援を必要となる子どもが市内でも見受けられる。2つ目の質問はどのような取組が必要と考えるかということで、回答は来年度策定する第三次どんぐりプランのなかにも、子どもの貧困対策も盛り込むべき課題ととらえている。地区こども館等を活用した学習支援や食料提供など、地域の皆さんと検討して、協働して進めることで、地域での子育てが推進

されると考える。3つ目の質問が取組への支援や連携はいかがかということで回答は市民団体が「子どもカフェ」のような活動を自主的に行う場合、茅野市みんなのまちづくり支援事業補助金を活用していただきたい。

伊藤勝議員から「保育園の統廃合について」質問をいただいております。1つ目の質問は地域創生総合戦略との整合性はとれているか。人口減少対策として行政への要望として、保育料の減免などの経済的負担や、働きながら子育てできる環境整備が求められており、保育園管理計画は、働きながら子育てできる環境整備を目指したものとなっているので、総合戦略との整合性は取れている。2つ目の質問は統廃合2園の存続は検討したのかということで回答は、みどりヶ丘保育園は、H22年度に策定した保育園建設計画では統廃合を検討する園となっており、笹原保育園はH8年度の保育所運営審議会で統廃合が望ましいとの答申を受けている。2園の統廃合には反対意見等を多数いただいているので、統廃合を決定事項とせず、検討委員会等を立ち上げ丁寧な議論をしていく。3つ目の質問が保育士不足の対応についてということで、県内の保育士養成学校の学生の就職先が都市部に流れる傾向があり、地方の保育士不足も危惧するところです。未満児入所の増加を補うため計画的に正規保育士の増員を行いながら、非正規保育士の確保のために、非正規保育士の処遇改善を行いました。

樋口敏之議員から「過去の一般質問に対する市側の対応とその後について」質問をいただいております。1つ目の質問が平成28年3月議会「市内小中学校の情報通信環境とその活用について」4月から始まる小中一貫教育の中でどのような体制と仕組みで活用するかということで回答は、次年度から市内全ての小中学校に離れた場所からライブ的に相互通信のできるテレビ会議システムの設置を行っていく。テレビ会議の用途としては、小中一貫教育で、各中学校間の連携・交流や台湾と自校の生徒がリアルタイムにコミュニケーションを行うなど、いくつかの活用が期待できる。

伊藤正陽議員から「非正規職員の待遇改善と労働環境改善について」質問をいただいております。1つ目の質問は専門職として働いている非正規職員の待遇改善について、2つ目の質問が同一労働同一賃金に向けて非正規職員の待遇改善に市はどの取り組みようとしているかということで、その2つの質問に対しての回答が、臨時職員の時間単価については、一般事務職の他に保育士や保健師などの一定の専門職について、別に区分を設けて単価設定している。学校図書館司書の勤務体制は、一般事務職として任用を行っているが、新年度からは全ての学校で登校日に合わせ週5日勤務とし、勤務日数を1日増やすこととしている。任用期間について代わるものがない場合は、継続任用していく。また「保育園管理計画（案）について」質問をいただいております。1つ目が保育士不足の現状とその原因をどう考えているかということで、回答が未満児入所の増加や育休取得者の増加を補うため、計画的に正規保育士の増員や再任用制度を積極的に利用しながら保育士の確保に努めている。保育士不足の原因は都市部の待機児童対策を解消するために、県内の学生が都市部に流れることが要因かと思われる。2つ目の質問が保育園職員の待遇と労働環境・労

働条件改善についてということで、保育士が休憩時間を取得できるように代替保育士を雇用して運用している。また、労働時間内に保育に必要な事務処理時間を確保するために、平成 27 年度から代替保育士の雇用時間を拡大し保育士の負担軽減に努めている。3 つ目の質問が保育園施設改善（職員トイレ・更衣室等の設置）についてということで、現在、男性用トイレについては、多目的トイレ等活用している。今後、男女別への対応や更衣室、ロッカーの設置を進めていきたい。

望月克治議員から「子育て支援について」質問をいただいております。1 つ目の質問が就学援助費の支給方法と回数についてということで、県内の市の中には、中学校の新入学用品に対して、小学校 6 年生の 3 月に支給しているところがある。今後、茅野市においても入学前に何等かの就学援助ができないか研究をしていきたい。支給回数については、ほとんどの自治体が 3 期に分けて支給しているため、現行のまま実施していきたい。2 つ目の質問が通学区域の柔軟な運用についてということで、回答が通学区域は規則で定めて運用しているが、細則のなかで、家庭の特殊事情や教育的配慮等などの通学区の変更を認める 7 項目の基準を定め、該当する場合は区域外通学を認めている。3 つ目が現代社会における乳幼児の保育の必要性についてということで、回答は保育所が担う役割はより重要なものとなっており、就労のみならず多岐にわたっている。さらには虐待等により保育を必要とする家庭支援も行っている。これからも地域の子育て支援の拠点として、人育ちを担っていく。また「茅野市公共施設等総合管理計画について」質問をいただいております。1 つ目の質問が小中学校の統廃合や合築などの今後の考え方についてということで、回答は平成 29 年度中に学校施設中長期整備計画を策定していく。現在、学校については統廃合を行う計画はない。地区コミュニティセンターや保育園との複合化等の課題については、地域の実情を踏まえ、地元と十分に協議しながら進めていく。3 つ目の質問が保育園や学校は単なる保育や教育の施設ではなく、世代間交流の場など、地域づくりのための核となる施設にすべきであるということで、学校施設は、地域住民にとってシンボル・心の拠りどころであり、生涯学習の拠点、防災の拠点、コミュニティの活動の場など、様々な役割が求められ、地域づくりの核となる施設と考えられる。地域に愛される学校づくりを大切にしながら取り組んでいく。こども部は以上になります。

生涯学習部長

北澤千登勢議員より「第 0 回八ヶ岳 JOMON ライフフェスティバルについて」質問をいただいております。市民の関心の低さや否定的な意見がある。市民が納得して共感できるフェスティバルにしてほしい。1 つ目の質問が「何のためにやるのか」「どういった効果を見たいのか」ということで、回答は何のためにやるかは 1 つ目に、このフェスティバルに市民が大勢参加し、「縄文」を楽しんでもらうこと。そのため、学術系から芸術、ものづくり、体験ものなどをイベントに取組む。効果としては、縄文を通じて市民の関心が深まることで、郷土愛を育み、誇りに思う事の醸成につながる。2 つ目に「縄文」を茅野市の

魅力として、広く発信すること。国宝土偶や土器だけではなく、縄文人の暮らしや知恵にも焦点をあて、発信する。茅野市の認知度の向上と新たな交流人口を促せる。また、同時期に開催する市内イベントと連携することで、相乗効果がある。2つ目の質問は3年に1度開催される意味はということで回答が、このフェスは、イベントに関わる市民の準備も考えると3年に一度で開催した方が持続的なイベントになる。また第1回のフェスを2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせたいことも理由の一つ。3つ目の質問が何をもって成果とするのかということで、イベント期間中の総来場者数や縄文HPのアクセス数やイベント参加者数や関係者によるブログやツイートなどを成果としたい。また、主要なイベントでアンケートを行い、満足度等を検証したい。多くの人が参加できるイベントを関係者と構築し、市民や観光客も共感できるフェスにしたい。

丸茂岳人議員から「市内観光地及び公共施設の今後」という事で質問をいただいております。市内観光地と公共施設を観光客及び市民に利用してもらう取組みについて（H29年度予算編成を軸に今後の計画を聞く）。1つ目の質問が公共施設バリアフリー化の今後の計画ということで、回答は尖石縄文考古館・八ヶ岳総合博物館・茅野市図書館はエレベーター、スロープ、身障用トイレ、洋式トイレが設置され、バリアフリー環境が整っている。当面バリアフリー化に係る整備計画はないが、引き続き環境美化や安全対策に注意を払い、来館者に快適な空間を提供したい。2つ目の質問がWi-Fi環境整備の今後の今後の計画ということで、回答は3施設とも無料Wi-Fi環境が導入され、フリースポットになっている。

両角秀喜議員から「公共施設等総合管理計画の推進について」質問をいただいております。質問は公共施設等総合管理計画の展開についてということで、回答は市の図書館、市営プール、運動公園の各施設、考古館等は、多くの人に利用してもらえるよう工夫し稼働率や集客効果を高めていきたい。体育館や図書館等はその運営管理を民間に任せられるか検討していく。学校図書館は読書活動推進の身近な施設として現状を維持したい。現在、具体的な計画はないが、プールやスケートセンター、陸上競技場は広域的な施設配置を含めた施設の複合化や集約等を検討しないといけない時が来る。社会教育施設は耐用年数からもまだ20年～30年は使える。安全に安心して利用してもらえるよう適切に管理し、少しでも長く使いたい。今後、まちづくりの基盤整備や財政状況の好転等、何かのきっかけがあったときに、市民の皆さんからもご意見をいただきながら施設の集約、複合化、統廃合等を考えることになる。

松山孝志議員から「世界かんがい施設遺産登録について」質問をいただいております。1つ目の質問がH28茅野市の二つのかんがい施設（大河原堰、滝の湯堰）が世界かんがい施設遺産として県内初登録になったこのことを今後どう活用していくのか、また教育上での活用ということで、八ヶ岳総合博物館では坂本養川の展示コーナーを設け、古文書や古地図の写真、「くりこしせぎ」の仕組みについての模型、瀬木の様子を交えたビデオの上映等を行っている。また、この坂本養川コーナーを使ってH28年度は、市内・郡内5校の小学校4年生が来館し授業を行っている。その内の3校は現地で堰の仕組み等について、博

物館学芸員の解説を交えて学習している。また、ホームページ「坂本養川について」の情報発信に努めている。堰組合の皆さんの意向を確認したうえで、用水を歩く会等を開催できないか検討したい。

望月克治議員から「茅野市公共施設等総合管理計画について」質問をいただいております。質問は公民館の果たす役割をどう考えるか。また公民館の利用についてどう考えるか、ということで回答は、公民館の果たす役割は2つある。1つはいつでも、どこでも、だれでも学べる拠点施設としての役割。2つめはパートナーシップのまちづくりの推進に重要な役割を担っている各地区、分館活動の支援、連携、協力をする役割。公民館は多くの皆さんが来て学習をしている。なるべく使ってもらえるように配意したい。生涯学習部からは以上になります。

教育長

ご意見等ございませんか。

次にその他2「全国学力・学習状況調査について」学校教育課長お願いいたします。

学校教育課長

29年度も同じく全国学力調査が行われます。実施日は4月18日ということになります。一般質問でも話題に上がりましたように、何のためにやるかということを考え、児童の学力を測るのではなく、茅野市の児童、生徒の課題などを見つけられるそんなための調査にしていきたいと思います。

教育長

ご意見等ございませんか。

次にその他3「保育所運営審議会の委員の選出について」幼児教育課長お願いします。毎年、教育委員の中なから審議会の委員を2名選出していただいております。会議が終わった後で結構ですので、2名決めていただきご報告いただきたいと思います。

教育長

質問等ございませんか。

本日の予定されていた議事は全て終了しました。

次回定例教育委員会ですが、4月27日火曜日午後1時30分から、事前を午後1時00分から開催したいと思います、よろしいですか。

全委員

異議なし。

教育長

ご異議ないようですので、そのようにいたします。

以上で3月定例教育委員会を終了します。

茅野市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定によりここに署名する。

平成 29 年 3 月 31 日

茅野市教育委員会 教 育 長

同職務者代理

委 員

委 員

委 員

こ ども 部 長